

令和元年度事業報告

松阪市シルバー人材センターは、高齢者が健康で、意欲を持ち、その蓄積した経験や技術を活かして地域社会の支え手となることにより、地域から信頼され魅力あるセンターをめざして事業を進めてきました。

また、シルバー人材センターの理念である「自主・自立・共働・共助」の理念を基に、第3次中期計画や令和元年度事業計画に基づき理事会、各委員会に諮りながら事業を推進しました。

令和元年度の取り組みを◆組織体制の確立と財政基盤の強化 ◆安全就業・適正就業の推進 ◆普及啓発活動 ◆就業開拓の推進 ◆福祉家事援助サービス事業推進の視点から整理すると次のとおりとなります。

1. 組織体制の発展と実績の概要について

請負契約金額は4億7千万円（対前年プラス9百万円）で、その内公共事業は31.3%、民間企業は55.3%、一般家庭は13.4%となっています。配分金は4億1千万円（対前年プラス8百万円）でした。

また、シルバー派遣事業の契約高は、下表のとおり7,236万円で（対前年プラス1,546万円）となりました。

派遣事業を含む契約金額では、昨年を約2千5百万円上回る5億4千3百万円となり、過去最高を記録しました。

月別派遣事業実績表

	派遣事業所数	就業実人員	就業延日人員	契約額（円）
4月	19	72	1,133	5,146,791
5月	20	83	1,263	6,020,194
6月	21	85	1,248	5,936,704
7月	23	96	1,333	6,393,107
8月	23	86	1,239	5,801,172
9月	22	86	1,266	5,688,102
10月	22	82	1,252	5,774,482
11月	24	91	1,286	6,081,873
12月	23	91	1,421	6,944,246
1月	22	89	1,328	6,494,169
2月	22	89	1,316	6,438,659
3月	20	79	1,214	5,646,528
合計	—	—	15,299	72,366,027

年度末会員数は、1,026名で昨年度末より15名の増加となり、過去最高の会員数となりましたが、会員の高齢化はさらに進み平均年齢が73歳となっています。60歳代の会員は全体の26%にとどまり、逆に75歳以上の会員は34%を超えています。

60歳代の会員の入会を促進することが喫緊の課題であり「会員募集」チラシを市内の公共施設に常置したり、地元ケーブルテレビに「会員募集」のCMを流しました。しかし、定年が70歳まで延長された企業もあり60歳代の会員増には至っていません。

また、剪定など技能系会員の後継者を育成することも継続的な課題となっています。

2. 安全・適正就業の推進について

会員の安全就業については「安全はすべてに優先する」を機会あるたびに訴え、無事故無災害を目標にしてきましたが、傷害事故については16件と残念ながら昨年度を6件上回る結果となりました。また、損害賠償事故については、9件と昨年度を4件下回りましたが、刈払い機の飛び石による車輛のガラス破損事故が減少せず、安全就業基準を遵守していれば、ほとんどが防げた事故であり残念でなりません。

安全就業推進大会は、講師を招聘して「高齢者の交通事故防止」及び「シニアにおけるケガとその予防」についての講演会を実施しました。157名の参加がありました。

また、安全な草刈作業を徹底するために刈払い機の操作講習会を2回に分けて実施し、草刈り業務に携わる会員50名が参加しました。

適正就業の面では、就業分野が年々変化する状況下で、役職員・会員自らがもう一度シルバー人材センターの理念・心得を再確認して、公平性を保ちながら地域社会に貢献することが求められます。

「適正就業推進基準に関する要綱」に基づいて、同一就業先での長期就業会員の交代措置に平成25年度より取り組んできました。本年度は「要綱」を議案書に掲載して共通理解を図るとともに、交代措置を実施するなど是正において一定の成果を出すことができました。

また全国シルバー人材センター事業協会から「適正就業ガイドライン」が示されたことを受け、適正な就業の観点から請負契約の見直しをして請負から派遣への切り替えを行いました。

3. 普及啓発活動の推進について

令和元年度のボランティア活動は下記のとおりです。

月 日	実 施 場 所	活 動 内 容	参加者数
10月9日	老人介護施設	体操クラブの慰問	11名
10月19日	市営駐車場・松阪城址公園 天白小学校跡地・宮前小学校	除草・草刈り・剪定	289名
11月12日	香肌小学校	草刈り・剪定	4名
11月17日	シルバー事務所	ちびっこはうす「あそぼう会」	11名

シルバーの日と福祉家事ボランティア活動では会員数の3割を超える参加率となり、平成30年度と比較して50名程の参加増になりました。

定期的な入会説明会の開催（12回/年）については、「新型コロナウイルス感染症」の影響で3月の入会説明会は中止とし、11回の実施となりましたが、入会希望者には個別

で対応してきました。

しかし、「新型コロナウイルス感染症」の影響もあり、説明会参加者は全体として69名減となりました。

	説明会参加者	入会者	退会者	年度末会員
H27 //	256人	170人	153人	1,017人
H28 //	247人	147人	139人	1,025人
H29 //	226人	150人	183人	992人
H30 //	275人	149人	130人	1,011人
R1 //	206人	159人	144人	1,026人

4. 就業機会開拓の推進について

市広報紙、地方紙での会員募集の案内、「かもめーる」を活用した広報活動に加え、電柱や三交バス、センター公用車にも積極的に会員募集や就業開拓の広告掲載を展開しました。

また、地元ケーブルテレビにセンター紹介や会員募集CMの制作を依頼し、そのCMを定期的に放映しました。

5. 福祉・家事援助サービスの推進について

お元気応援ポイント事業に代表される地域支援事業にも多くの会員が就業しました。

また、個人や高齢者家庭からの家事福祉援助サービスの注文も順調に増加しています。これらのニーズは今後も続くと思われ、事業継続のために講習会や研修会にも三重県シルバー人材センター連合会と連携しながら積極的に参加してきました。